

続 ふるさとこぼれ話

おおき 青木の観腸先生 22 社会福祉協議会 2

社会福祉協議会の事務局長には、古塚弘さん、黒崎明子さんがおり、次いで釜野井正美さん、手塚ユキさん、直井玲子さんと変わった。当時の社会福祉協議会の年間行事の主なもの①心配ごと相談②身障者ゲートボール・囲碁・将棋大会③家庭看護講習会④会費の徴収⑤福祉祭り⑥福祉映画の夕べ⑦独居老人招待事業⑧1万人プールに母子・父子家庭を招待⑨身障者ボウリング大会⑩チャリティバザー⑪歳末助け合い募金などであった。少人数の事務局ながら多彩な事業を展開していた。

昭和60年当時に事務局員であり現在は小物作りの福祉ボランティアとして活躍している直井玲子さんに社会福祉協議会事務局と観腸先生の思い出を語ってもらった。

直井玲子さんの話

「酒井先生の一歩の功績は、社会福祉事業の資金源となる『梨の実基金』を作られたことだと思います。現在ではその基金が1億数千万円となっているそう



▲直井玲子さん

です。私の担当は身障者福祉会の運動会やボウリング大会と老人クラブ会長研修でした。中田観音・立木観音・鳥追観音を拝観する会津ころり三観音巡りは会長さんたちに大変喜ばれました。酒井先生は、分け隔てなく人と接する穏やかな人でしたが、一方で医療や町民の福祉に強い信念を持って、仕事に当たられました。職員の見解をよく聞き、信頼してくれていましたので、職員全員、酒井先生についていこうと仕事をしました。職員との懇親会が盛り上がり、詩吟や「星影のワルツ」を披露してくれました。酒井良清先生のよくな人は、これからも不世出の人物と思います」。

(つづく)

しまたかしの 芳賀の自然 41



クロアゲハ

チョウ目アゲハチョウ科

写真提供=芳賀町自然に親しむ会 撮影場所:町内

分布=本州以南、朝鮮半島や中国
 生息地=林部の中の暗い環境を好み、都市部では樹林が繁った場所で見られる。

時期=4月～9月
 発生=3～4回/年
 食性=各種ミカン科植物
 吸蜜=ネムノキ、ユリ科の花
 大きさ=開帳60～110mm(羽を広げた最大値)
 特徴=大型で黒いアゲハチョウ。雄は全体が黒色で後羽の前縁に白～薄黄色の横帯がある。雌は全体がやや淡く後羽の赤斑が発達する。日本と朝鮮半島産には尾状突起がある。

編集後記 ● 広報はが9月号

□まだ暑いですが、朝晩はだいぶ涼しくなつたように思います。
 □秋といえば、今月号のインフォメーションでは、秋らしい講座や大会の参加者を募集しています。文化・スポーツ・実りとさまざまなイベントが開催予定ですので、皆さんも何かにチャレンジしてみたいかがでしょうか？

私も
 スポー
 ツに挑
 戦しま
 す!
 (K)



▲道の駅はが周辺

◎編集 芳賀町広報広聴委員会

☎028 (677) 6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp

◎発行 芳賀町企画課

栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地

◎芳賀町ホームページアドレス

http://www.town.haga.tochigi.jp

④芳賀町の携帯サイトはコチラから➡



この印刷物は、ESPAのゴールド基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
 ESPA：環境保護印刷推進協議会
<http://www.espa.com>